

□ 要請番号 (JL02618A26)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|--------|-----------|------|------|----|------|-----------------|
| 東ティモール | H132 公衆衛生 | | 個別 | 新規 | 2年 | ・2018/3 ・2019/1 |

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

ディリ県保健局

3) 任地 (ディリ) JICA事務所の所在地 (ディリ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

当局は保健省の管轄のもと、2000年に設立された。感染症、非感染症、母子保健、健康教育増進、環境衛生と薬剤の6つの課がある。当局が管轄する首都の6地区には6つの保健センターがある。実施されている業務として移動健診(SISCa)等がある。県の医療従事者(医師・看護師・助産師・歯科医・歯科衛生士・臨床検査技師・薬剤師など)が、県内住民約25万人の健康を支えている。保健省からおりてくる年間予算は1,700万円程度。NGO、国連機関などから物品支援を受けている。過去に保健省配属の栄養士が週2回程度巡回活動を行っていたほか、コミュニティ開発隊員が健康教育増進課にてSISCaプログラムに関わっていた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同局ではヘルス・コミュニティ・プログラムを実施しており、栄養プログラムはその1つである。また県内には31の村があり、21か所で毎月定期的に移動健診が実施されている。県の医療環境は総体的には改善されつつあるが、住民の健康(特に栄養)に対する意識は、まだ高いとは言えない。医療関係者の数も十分ではないため、住民の健康への意識・知識を村レベルで高めるには、各村に配置している保健ボランティアやコミュニティリーダーとの共働と、彼らが村レベルで機能していけるための意識・能力向上が不可欠である。保健ボランティアやコミュニティリーダーの意識・知識向上が必要とされることから、ボランティア派遣が要請された。母子保健課に所属し、主に栄養面に関する啓発予防活動に関わり、低栄養児のモニタリング改善に協力・寄与できる青年海外協力隊(JV)が求められている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- ・住民の健康促進と予防に関するプログラムのモニタリングを行う。またその際のツール(チェックリストや栄養不良児のマッピングなど)を作成・更新し、栄養不良児が確実に特定・フォローされ、必要に応じて入院できるように図る。
 - ・栄養に関するデータ収集・分析や報告書作成、資料整理など、管理体制向上支援も期待されている。
 - ・各村にいるコミュニティリーダーや保健ボランティア、保健センタースタッフ、同僚と協力しながら課題解決を図る。とくにコミュニティリーダーと共有し、彼らが住民に啓発できるように支援することが期待されている。
- ※保健省配属で広報媒体を作成するJVや栄養課のJV、地方の保健局配属のJVと連携し、より効果的に栄養改善に関わる活動ができるよう工夫する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

執務室、車両、プリンター、プロジェクター、スクリーン、マイクなど
モニタリング用チェックリストあり(更新可)

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・局長(女性、40代、大卒)、職員32名(女性17名、男性15名)
- ・母子保健課4名(栄養士:男性40歳、経験8年/助産師:女性3名)
- ※CP予定の栄養士はトレーナーでもあり不在がち
- ・ヘルスセンター・ヘルスポストの医療関係者(男女、20-50代)
- ・保健ボランティア(約75名)

5) 活動使用言語

その他

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：()

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験)2年以上 備考：実践的な栄養改善を図るため

[参考情報]：

- ・栄養に関する基礎知識

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯モンスーン気候) 気温：(23～32℃位) [電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可) [水道]：(不安定)

【特記事項】

活動や生活では習得が容易なテトゥン語を使用する。